

## 県広報紙編集業務企画提案コンペ仕様書

### 1 コンペ実施の目的

本県では、広報を通じて県民とのより良い関係性構築を目指している。そのため、県政の取り組みや県の魅力を分かりやすく効果的に発信することに加えて、難しい課題でも関心を持ってもらえるよう、広報紙やテレビ、ラジオ、インターネットなど各種広報媒体等を活用し、戦略的な広報を行っている。また、県側からの一方的な情報発信にならないよう県民との対話を積極的に推進するなど、多様なチャンネルを通じ、生活者視点で県政と県民とのコミュニケーションの確立を図っている。

広報紙については「兵庫県のさまざまなことがわかり、兵庫県のことをもっと好きになる広報紙」をコンセプトに、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力やイベント情報など、県民生活に密着した話題を広く発信している。誰もが興味を持って紙面を読んでもらえるよう、全体として、写真やイラストに大小のメリハリを付け、飽きさせないレイアウトを心掛けるほか、どの面、どの記事からでも読みはじめることができる構成を続けてきた。また、視認性の高い書体を採用し、多色使いを避けるなど、誰もが読みやすい紙面づくりに配慮してきた。

令和4年度から令和6年度までは、1面の写真に2－4面で紹介した内容に関する引きのある写真を使用し、その時々に応じて1枚写真・組み写真を使い分け、読者が手に取って中を開いてみたくなるような工夫をこらしている。2－4面では県政情報に加え、県内各地の旬な情報を様々な立場から紹介している。5面では県内各地で行っている県の主要施策の取り組みなど、県民にお知らせしたい県政情報をクローズアップして紹介している。6・7面は県内のイベント情報や県からのお知らせを中心とした紙面に加え、県内各地の地域性・独自性がでるようなコーナーを掲載し、改めて各地の地域性・文化の違いを再認識するとともに県をもっと深く知り、好きになってもらえるような仕掛けにしている。8面は県内10地域の県民局・県民センターによる地域版として、各地域の施策やイベントなどを紹介している。

企画内容については、神戸・阪神、播磨、但馬、丹波、淡路の五国それぞれの地域に住む県民に他地域の食や文化、その地域に生きる人々のことを知って欲しいという思いで、年間を通じて、生活、文化、福祉、農林、環境等分野のバランスを考えながら、毎号、五国の地域情報を掲載した広報紙を制作している。その結果、令和4年度「全国広報コンクール広報紙 都道府県・政令都市部門 入選」、令和5年度「全国広報コンクール広報紙 都道府県・政令都市部門 三席」と一定の評価を得ていると考えている。

今回の企画提案コンペは、従来の県広報紙の構成等に縛られない、より自由な発想の提案を得ることで、広報紙でのより効果的な県政情報発信に取り組むために実施するものである。

## 2 提案の条件

コンペ参加者は、県広報紙編集基本要領および県広報紙編集業務企画提案コンペ募集要項9（2）をふまえ、本仕様書により必要な提案作品を作成し、提出すること。

## 3 提案作品等の仕様

### （1）作品全体

ア A3用紙に両面印刷で左綴じとする。

イ 1、2、3、6、8面を1案提出すること。2案以上の提出も可とする。

ウ 1面の紙面タイトルについて、当課としては「県民だよりひょうご」を想定しているが、その限りではなく、タイトルの提案も可とする。

エ 2、3、6、8面の下段には広告枠（左右245mm×天地65mm）を設け、紙面づくりのポイントや主となる文字の大きさ・フォントなどを記載すること。なお、別紙任意の様式に紙面づくりのポイントなどを記載することも可能。

オ 作品の設定月は自由とする。なお、原則として当選作品は、県から指示した部分を除き、実際に発行する紙面に反映する可能性がある。

カ 県広報紙のコンセプトは継承しつつも、従来の県広報紙のイメージを刷新し、行政らしくない親しみやすい広報紙を目指すこと。

キ 実際の紙面づくりにあたっては、各コーナーの大きさや掲載場所は流動的に対応できることを念頭に、作品を作成すること。

### （2）企画説明書

企画説明書には、各コーナー、各ジャンルで紹介する情報や取材先を提案すること。

## 4 注意事項

（1）取材が必要な場合は、本企画提案コンペのための取材である旨を予め取材先に説明し、誤解が生じないようにすること。

（2）希望する追加資料があれば個別に対応するので事務局に連絡すること。

（3）提案作品、企画説明書には1部のみ社名を記載すること。